

患者の服用状況を確認し薬剤変更を提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

A さん

▶冠動脈造影検査施行目的で入院



薬剤師に持参薬確認に訪室

患者 A さん

現在飲まれているお薬の確認にきました。
お薬についてわからないこと、困っていることはありますか？



1 個だけ飲みにくい薬があるんよ。
これ（タケルダ®:アスピリン/ランソプラゾール配合剤）は大きくて飲めんけん、自分でかみ砕きよる。



そうだったんですね。A さん、このお薬は腸で溶けて吸収されていくお薬も含まれているのでかみ砕くと吸収に影響がでてしまい、期待する効果が得られない可能性があります。



そうやったん？知らずに噛みよったわい。

患者へ相談

このお薬は2つの成分が一緒なお薬です。
成分ごとにお薬を分けることができますが、飲む個数は増えてしまいます。どちらが飲みやすいですかねー。



数が増えてもいいけん、飲みやすい小さい薬にしてや。

医師



医師へ提案

A さんがタケルダ®が大きく飲みにくいと言われてます。アスピリン腸溶錠とランソプラゾール OD 錠に分ければサイズが小さくなるので飲みやすくなると思われます。



必要な薬なので、そのように変更しましょう。

服用状況を確認することで患者にあった剤形変更を提案し、適切な薬物治療へ貢献できた